

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公表番号】特表2008-531865(P2008-531865A)

【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-558017(P2007-558017)

【国際特許分類】

D 0 1 F	8/04	(2006.01)
D 0 3 D	15/00	(2006.01)
D 0 2 G	3/02	(2006.01)
D 0 2 J	1/22	(2006.01)
D 0 2 G	3/40	(2006.01)
D 0 1 D	5/30	(2006.01)

【F I】

D 0 1 F	8/04	Z
D 0 3 D	15/00	C
D 0 3 D	15/00	D
D 0 3 D	15/00	1 0 2 Z
D 0 2 G	3/02	
D 0 2 J	1/22	N
D 0 2 G	3/40	
D 0 1 D	5/30	Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月3日(2009.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複合ポリマー纖維であって、

ポリマー充填剤材料と、

前記充填剤材料内に配置された複数のポリマー散乱纖維であって、前記複合ポリマー纖維の長手方向の軸に実質的に平行な長手方向の軸を有する複数のポリマー散乱纖維とを含み、

前記充填剤材料および前記散乱纖維の少なくとも一方が、複屈折性材料から形成され、前記充填剤材料および前記散乱纖維の屈折率が、前記複合ポリマー纖維に第1の偏光状態で入射する光について実質的に整合し、前記第1の偏光状態に直交する第2の偏光状態で入射する光について実質的に整合しない、複合ポリマー纖維。

【請求項2】

ポリマーマトリックスと、

前記ポリマーマトリックス内に配置された複数のポリマー複合纖維であって、前記ポリマー複合纖維の少なくとも1つが、第1のポリマー材料の複数の散乱纖維を、前記第1のポリマー材料と異なる第2のポリマー材料の充填剤内に含み、前記ポリマー複合纖維が、前記ポリマーマトリックス内に実質的に平行に配列され、前記ポリマーマトリックス、前記第1のポリマー材料、および前記第2のポリマー材料の少なくとも1つが、複屈折性で

ある、複数のポリマー複合纖維とを含む光学体。

【請求項 3】

光学体を製造する方法であって、

複合纖維を押出す工程であって、各複合纖維が、第2のポリマーから製造された充填剤内に分散された、第1のポリマーから製造された複数の散乱纖維を含み、前記第2のポリマーが可溶性である工程、前記第1のポリマーを、その第1のポリマーが複屈折性になるように配向する工程、配向された複合纖維を含むヤーンを形成する工程、溶媒で洗浄して、第2のポリマーを除去する工程、ヤーンのアレイを形成する工程であって、ここで、ヤーンのアレイは好ましい配向を有する工程、ヤーンのアレイに樹脂を染み込ませる工程、及び樹脂を固める工程を具備する、方法。